

2007～2008年度 活動報告書 世界社会奉仕(WCS)

みだしの件につき、当クラブで実施したWCS(世界社会奉仕)活動について、下記の通り報告致します。

1) 活動内容 (実施国・日時・場所・対象等について報告書があれば別紙と記載し添付して下さい)

フィリピン共和国 第3860地区 マンダウエ・イーストRC

子供身体障害者用中古車椅子等(274)及びレイテの土砂災害被害者に対する医療援助

フィリピン・セブ島の身体障害者への子供身体障害者用中古車椅子等の寄贈プロジェクトは、日本の横浜の支援団体(横浜在住のセブ出身者・白岩レジーナさん)が集めて物を譲り受け、船便のコンテナでセブに送ります。マンダウエ・イーストRCでは、各施設に分配し、寄贈いたします。

また、レイテ島の医療支援として、集団医療診断等のミッションを展開いたします。

2) 活動結果 (反省や今後の目標などもあれば記載して下さい。)

フィリピンの住民のおよそ4%は、障害で影響を受けると言われています。ケースはひどく、貧しい生活の中で社会から閉ざされています。家族は働くために障害者の世話ができなかつたり、または、世話をする方法を知らないため、孤立してしまいます。車椅子があれば、教育や職業訓練も受けられます。こうした要請があり、今回のプロジェクトが計画されました。日本の身体障害者用の車椅子は中古品ですが使用できるものが多く、横浜の協力者によってコンテナで274台がセブに送られました。また、3,000人の居住者の命を奪った南部レイテの地すべりから2年、災難の間、避難される近くの村の約2,000人の居住者は、仮設住宅に住んでいます。この地区では、健康管理が問題で、多くは、医者、病院に行くことができません。お金がないため、薬を買うこともできません。このための医療支援を行いました。このため、入院患者の病院世話、外来患者の看護、集団診断を実施いたしました。



以上

実施したWCS(世界社会奉仕)活動が終了すれば、必ず地区へ活動報告書の提出をお願い致します。また、写真や資料がある場合、出来るだけ添付して下さい。

第2640地区 カバナー事務所 FAX 073-428-2643
mail info@ri2640d.jp